

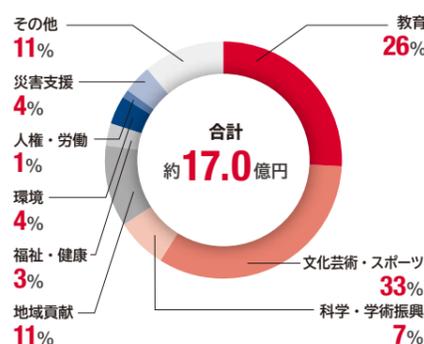
# Supporting Our Communities

## 基本的な考え方

野村グループはお客様をはじめ、株主や地域社会、社員などの幅広いステークホルダーとの継続的なコミュニケーションを通じて、社会・環境課題の解決に貢献していきます。2015年11月に制定したコーポレート・ガバナンス・ガイドラインにおいても、常に社会の発展に貢献することを心がけ、創業以来受け継がれる規範である「創業の精神」を実践することで、野村グループの企業市民としての社会的責任を果たす旨を定めています。

## 持続可能な地域社会への貢献

社会貢献支出 (2017年3月期)



\* 総額には野村財団の約1.6億円および野村チャリティブルトラストの約0.4億円が含まれています

## グローバルでの取り組み

野村グループは、ビジネスを展開する世界の各地において、「For Future Generations (次世代のために)」というCSRのテーマを共有し、NGOなどとパートナーシップを組みながら、次世代の格差解消に向けた活動といった次世代育成を中心に、地域のニーズに沿った活動を展開しています。⇒詳細は、P83「地域社会の課題に向けたCSR活動」

## ステークホルダーとのコミュニケーション

企業市民としての社会的責任を果たすため、国内外の社会や環境イニシアティブに参画しています。

ステークホルダーとの対話や連携を通じ、経済・社会・環境課題に対し、私たちが取り組むべき活動や情報開示について精査し、必要に応じて見直しやCSR委員会への報告を行っています。

## ステークホルダーとの対話 (一部)

テーマ	外部団体	概要
人権・労働・環境・腐敗防止	国連グローバル・コンパクト	グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパンに参加
ESG	国連責任投資原則 (国連PRI)	日本ネットワークに参加
ESG	持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則	運用・証券・投資銀行業務ワーキンググループに参加
ESG	Climate Bonds Initiative	パートナーとしてグリーンボンド等を推進する活動に参加
ESG	CSRアジア	アジア地域におけるESG課題について意見交換
環境	CDP	署名機関として、気候変動および水プログラムを推進

\* ESG (環境・社会・ガバナンス)

ステークホルダーとのコミュニケーション  
http://www.nomuraholdings.com/jp/csr/stakeholder/communication.html

イニシアティブ等への参画  
http://www.nomuraholdings.com/jp/csr/stakeholder/initiatives.html



## SRI インデックスへの組み入れ状況

野村グループのCSRに関する取り組みは社外から高く評価されています。野村ホールディングスは、Dow Jones Sustainability Indices (ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス) の「DJSI World (DJSI ワールド)」および「DJSI Asia Pacific (DJSI アジア・パシフィック)」の両指数、「FTSE4Good Index」、「MS-SRI (モーニングスター社会的責任投資株価指数 / 2017年1

月時点)」のSRI (Socially Responsible Investment: 社会的責任投資) インデックスの組入銘柄として採用されています。2016年10月には、SRIの世界的な株価指数である「STOXX Global ESG Leaders Index (ストック・グローバル・ESG・リーダーズ・インデックス)」の構成銘柄として、2015年に続き選定されました。

外部評価  
http://www.nomuraholdings.com/jp/csr/evaluations/

### Dow Jones Sustainability Indices

米国ダウ・ジョーンズ社と RobecoSAM 社が選ぶ、世界で初めてつくられたサステナビリティ株式指標



### FTSE4Good Index

ロンドン証券取引所グループの FTSE Russell (フツィー・ラッセル) が提供する、世界中の優良企業を選定した社会的責任投資指標



### STOXX Global ESG Leaders Index

ドイツ証券取引所の子会社である STOXX (ストック) 社が提供する、世界の主要企業から、ESG の評価基準を満たした企業を選定される社会的責任投資 (SRI) の世界的な株価指数



### MS-SRI

モーニングスター株式会社が国内上場企業のなかから社会性に優れた企業と評価する 150 社を選定し、その株価を指数化した国内初の社会的責任投資株価指数



## 日本の2020年、その先の持続的な成長に向けて

### 日本の挑戦を、サポートするという誇り。

～東京2020オリンピック・パラリンピックをゴールドパートナーとして支援～



東京2020スポンサーシップについて  
<http://www.nomuraholdings.com/jp/tokyo2020/>

野村ホールディングスは、証券分野で唯一のゴールドパートナーとして、東京2020オリンピック・パラリンピックをサポートしています。日本が低成長や少子高齢化といった課題を乗り越え、復興と持続的成長に向けて取り組む姿を世界にアピールする絶好の機会に、資本市場を通じてさまざまな企業をサポートしている実績と強みを活かし、東京2020大会の成功に加え、日本経済全体の活性化に貢献していきます。同時に、社会全体の機運醸成につなげるために、当社で展開する金融・経済教育や復興支援活動について、「東京2020公認プログラム」の認証を得て展開しています。



2020年とその先の日本の持続可能性に向けて、社員が一丸となって取り組んでいきます。

### 自転車シェアリング

#### 「BE FREE Tokyo」プロジェクトへの協賛

当プロジェクトのリーディング・パートナーとしての支援を通じ、自転車シェアリングの普及を進め、利用者の健康増進や地域の活性化、東京都心部の環境の向上に寄与していきます。野村グループは、持続可能な地域社会の実現に貢献するため、さまざまな経済・社会・環境課題に取り組んでいきます。



### 障がい者スポーツ支援

野村グループは、日本障がい者スポーツ協会のオフィシャルパートナーとして、障がい者スポーツを支援しています。また、東京2020パラリンピックの正式種目であるシッティングバレーボールの普及を推進する日本パラバレーボール協会をスペシャルトップパートナーとして支援しています。2017年3月期は、役職員向けのシッティングバレーボール体験会や全国大会の応援、競技紹介DVDおよびパンフレット等を作成しました。今後も競技の普及、選手強化、障がい者スポーツ全体への理解促進に向け、パラスポーツを応援していきます。



### 復興支援 さくらプロジェクト

野村グループは2012年より、東日本大震災の津波で甚大な被害を受けた宮城県亘理郡(わたりぐん)にある戸花山(とはなやま)を桜の名所にしようと活動する地元グループの皆さんとともに活動しています。2017年4月に実施した第11回目の活動では、植樹した桜の苗の順調な成長を祝い、地元の方や子どもたちを招いて桜の鑑賞会と記念植樹も行いました。これまでに、のべ約800人の社員が活動に参加しています。



## 地域社会の課題解決に向けたCSR活動

### 欧州

欧州においては、次世代の育成支援に焦点をあてて、2年間のチャリティ・パートナーシップ、野村チャリタブル・トラスト、社員参加型の社会貢献活動という3つの主要分野で活動しています。2016年は、深刻な病気の子どものための慈善団体であるレイズ・オブ・サンシャインとのパートナーシップが2年目を迎えました。クイズ、スポーツ、料理コンテストなど、さまざまなチャリティ活動を通じて、81万5,000ドルを超える寄付が同団体のために集まりました。社員による社会貢献活動が重要な役割を担っており、社員は学校でのキャリアカウンセリング、職業訓練支援、次世代の夢を育てるための計画策定支援といったボランティア活動に参加しています。



### 米州

米州においては、メンターシップ、ファンドレイジング、意識向上キャンペーンを通じた地域社会の次世代支援を中心に活動を展開しています。リード・アヘッド・リテラシー・プログラムを通じて、地元の子どもの識字率を向上させる活動に取り組んでいるほか、LGBTやHIV感染者をサポートするアンチ・バイオレンス・プロジェクトや、恵まれない子どもたちにおもちゃをプレゼントする「Toys for Tots」などの、地域社会を支えるニューヨーク市の複数の組織を支援しています。さらに、募金活動によって、メモリアル・スローン・ケタリングがんセンター、オーティズム・スピークス(自閉症の医療や研究を支援するNPO)、および全国多発性硬化症協会を支援し、地域の意識を高めるとともに、医療研究にも貢献しています。また、インスタネットでは、継続的にエレバート・ニューヨーク、オペレーション・バックバックとのパートナーシップを通じて地元の若者の支援活動を行っています。



欧州

アジア  
インド

米州

### インド

ポワイでは、教育とヘルスケアに焦点をあてています。これらには、補習教育、能力開発、一次医療、およびがん治療のプログラムが含まれており、地域社会全体の福祉の改善をサポートするNGOとの連携を通じて、社会的課題解決を目指す取り組みを行っています。ポワイのCSRは、社員参加型のプログラムを構築し、展開中のプロジェクトと統合することで、常に付加価値を創出しています。これらのボランティア・プログラムでは、社員のもつ強みと専門知識を活用し、パートナーであるNGOと、そのステークホルダーの能力を強化しています。

2016年は、2,802人の社員が212のボランティア活動に参加し、活動にあてたボランティアの時間はのべ6,641時間となりました。

### アジア

Nomura CARESネットワークは、日本を除くアジア地域におけるCSR活動の中核として、社員ボランティアによって設立されました。Nomura CARESでは、地域のチャリティ・パートナーシップ、毎年のビーチ・クリーンアップ・イベントなどの環境保全活動、従業員が積極的に参加しているNGOへの寄付、野村グループが他の業界5社と一緒に組織する香港コミュニティ・コネクション・プログラムの4つの主要分野で活動を展開しています。香港、シンガポール、中国では、現地NGOとチャリティ事業パートナーシップを結び、社員によるさまざまな募金活動やボランティア・イベントを通じて支援活動を行っています。インドでは、会社法第135条を遵守し、少なくとも平均純利益の2%をCSR活動に配分しています。また、オーストラリアと韓国でも現地のCSRプロジェクトを支援しています。

